コースコード：EC-CCSE
税込価格：397,100円 (税抜価格：361,000円)
日数：4日間

ここに注目!!

クラウドセキュリティについて技術的な内容に加えて、BC、GRC、法規制対応等、クラウドをビジネスに適用するために考えなければならないセキュリティの内容についても触れています。クラウド・ネットワークエンジニアの方だけでなく、クラウドを導入しようと検討されている企画、管理部門の方にもおすすめです。
中級領域で得た知識を基盤に、クラウドセキュリティの専門性を高めるステップアップとして最適なトレーニングです。

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

・クラウドに関わるエンジニアの方
・クラウドに関わる設計者/ 開発者/ 管理者
・クラウド利活用の企画メンバー
・ネットワークセキュリティエンジニア
・クラウドアナリスト
・ネットワークおよびクラウド管理・運用者

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

下記のトレーニングを受講された方、もしくは同等の知識をお持ちの方
・EC-Council CND

下記の実務経験があるとコース内容の理解に役立ちます
・IaaSやPaaSでの設計や開発、運用の経験
・サービス企画、実装の経験
・クラウド利活用のプランニング
・AWS Cloud Practitioner
・Cisco CCNA/CCDA

※ CCSEの実践演習環境(iLabs)は、AWS、Azure、GCPの環境を利用します。各クラウドサービスにアクセスするアカウントは、受講者自身が事前に取得しておく必要があります

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

・組織におけるセキュアなクラウド環境の計画、設定、実装、保守に関する知識やスキルの習得
・クラウドネットワークインフラストラクチャの脅威を保護、検出、および対応するための知識とスキルの習得
・クラウド環境におけるペネトレーションテスト、フォレンジック調査、インシデントレスポンス、BC/DR、GRC対応など、クラウドセキュリティに特化した対策について理解する
・EC-Council CCSE（認定クラウドセキュリティエンジニア）試験合格

アウトライン

クラウドセキュリティの紹介

クラウドにおけるプラットフォームとインフラのセキュリティ

クラウドにおけるアプリケーションセキュリティ

クラウドにおけるデータセキュリティ

クラウドでのセキュリティ運用

クラウドでのペネトレーションテスト

クラウドでのインシデントレスポンス

クラウドでのフォレンジック調査

クラウドにおける事業継続とディザスターリカバリー

クラウドにおけるガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンス

基準、方針、法律、クラウドの課題